

# やたわか通信

2018年 4月 1日 (第20号)

ホームページ: <http://yatawaka.com/>

発行: 矢田わか子事務所



## 第196通常国会 与党の子ども子育て政策に対し、本会議で政府へ質問を行う



3月23日(金)に行われた参議院本会議において、「子ども・子育て支援法改正案」に関する代表質問を行いました。矢田議員は、子ども・子育て政策を最も大事な政策課題と位置付けています。少子化問題の根本的な解決に向けて、今一度全体像を描いた上で、財源確保や予算配分のあり方を見直す必要があると考えています。

今後も、各種委員会等での質疑を通じて、意見提起をまいります。

◀参議院本会議場の演壇に立つ矢田議員

### <矢田議員の質問>

◆「子ども・子育て支援法」の目的を達成するには、子どもの貧困対策や生活困窮者支援政策、児童福祉政策と連動した一体的な政策展開が必要であると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

※上記の他、以下のテーマについても質問を行いました。

- ・「待機児童対策」について
- ・「保育の質の確保」について
- ・「保育士の処遇改善」について
- ・「企業主導型保育事業」について 等

### <政府見解(抜粋)>

◆子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための国の基本方針において、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指し、障がい、疾病、虐待、貧困等の事情による社会的支援の必要性が高い子どもを含め、全ての子どもが支援の対象であることとしている。

◆具体的には、低所得者世帯を中心に保育所等利用料の負担軽減を行ったり、市町村が受皿整備を進めるにあたって障がい児等の特別な支援が必要な子どもにも配慮できるように、基本指針において示している。

◆引き続き、関係省庁と連携して取り組んでいく。特命担当大臣 厚生労働大臣



松山 内閣府 加藤 厚生労働大臣

★3月は、上記本会議の他に、20日(火)・29日(木)の内閣委員会で質問を行いました。詳細は矢田わか子公式Webサイトをご覧ください。

## 教えて! やたわかさん!! 「公文書の改ざん」は、何が問題なのですか?



マスコミでも連日大きく報道されていますが、財務省による「公文書が改ざんされた問題」は、いったい何が問題なのですか?

公文書(行政文書)は、過去に年金記録のずさんな管理などを受け、2011年に施行された「公文書管理法」において、「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として…(中略)…現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにする」と、その存在意義が明文化されています。

政府は「財務省理財局の一部の職員が「書き換え」をした」と国会で答弁していますが、いかなる理由があろうと、誰の意図であったとしても、公文書の書き換えは行政としてあってはならない行為です。しかし、国会からの要請に対し、改ざんされた公文書が提出され、審議をしていたことは「議会制民主主義の根幹を揺るがす深刻な事態」であり、そのことは立法府に身を置く議員の共通の認識です。政官関係のあるべき姿を今一度、議論する時が来ているのではないのでしょうか。

まずは与党も野党も関係なく真相を解明し、今後の「公文書管理」と「情報公開」のあり方についてさらなる法整備を含めた議論が必要です。またこうした問題で国民生活に関わる課題の解決が停滞することはあってはなりません。充実した国会審議が進むよう努力いたします。



矢田議員



### 最近の政府で、「ない」とされた公文書が実在した例は、どれくらいあるの?

①南スーダンPKO日報問題 ▶ 防衛省が保管を認め、一部を開示(2017年2月)

②加計学園問題 ▶ 文部科学省が調査し、文書の存在を確認(2017年6月)

③裁量労働制不適切データ問題 ▶ 厚生労働省の地下倉庫で発見(2018年2月)

④森友学園問題

▶ 交渉について検討する内部文書を開示(2018年1月)  
▶ 財務省が14件の決裁文書に改ざんがあったことを公表(2018年3月)

「教えて! やたわかさん!!」は、矢田議員に寄せられた意見・要望・質問の中から、テーマを選定しています。

# 東京オリンピック・パラリンピックの課題



今回の政策コラムは、2年後に東京で行われる「オリンピック・パラリンピック」について取り上げます。整備が必要なものは、何があるのでしょうか？

## ピ

ョンチャン冬季オリンピック・パラリンピックでは、日本選手の活躍に国内は大きく沸きました。次の東京での夏季大会が2年3カ月後に迫っています。この準備に向け、残された様々な課題を効率よく解決していかなければなりません。

## 例

例えば、選手の強化や競技場の整備は当然しなければならないことですが、訪日外国人や観戦客に便宜・快適さを提供していくことも大きな課題になっています。

具体的には、①選手・観客の円滑な輸送対策、②多言語による案内標識の整備、③暑さ対策（パナソニックが「ドライミスト」を開発中）、④外国語によるコミュニケーション能力の向上、⑤禁煙対策—などです。

## 特

に輸送関係では、ピーク時には「すし詰め」状態となっている首都圏の鉄道事情、あるいは道路の渋滞状況を見ると、延べ1000万人が観戦するとされるオリンピック期間中は大混乱が予想されます。そこで混雑回避のために、長期休暇制度や在宅勤務制度、あるいはサテライトオフィスでの勤務などを普及させるべきだとの意見が出ています。このことは、同時に、「働き方改革」にも繋がるものであり、今後、労使で積極的に論議していく必要があるでしょう。

## い

よいよ半世紀ぶりに東京へオリンピック・パラリンピックがやってきます。この世紀の祭典を「首都圏のイベント」として見るのではなく、多くの外国人を迎える国民の一人として、皆さんとともに「おもてなしの心」と「変える意識」をもって関わっていきたいと思います。



## 東京オリンピック・パラリンピックによって どんなインフラが整備されるの？

前回の東京大会（1964年）では、新幹線や高速道路などのインフラが整備され、高度経済成長の礎となりました。2020年東京大会では、日本が誇る技術やサービス、安全性などをベースとした新たなインフラ整備が進むことが期待されています。

### 将来の成長基盤

都市インフラ	技術	成長産業
ダイバーシティに配慮した街づくり	ロボット・AI・ICT 生体認証・センサー	観光・健康 情報・通信

### ユニバーサルデザイン・ショーケース化プロジェクト (国土交通省)の具体例

ダイバーシティ対応	具体例
旅客施設 (鉄道駅、バスターミナル)	・エレベーター、エスカレーター増設 ・スロープやホームドアの設置 ・点字ブロック、障がい者用トイレの設置
車両	・リフト付きバス ・ユニバーサルデザインタクシー
その他構造物	・道路の段差解消 ・公園のバリアフリー化
案内表示	・ピクトグラムやデジタルサイネージの導入推進
情報提供	・ICT活用による歩行者移動支援サービス ・多言語化対応
接遇	・心のバリアフリーに向けた教育の充実

出所：「2020年東京オリンピック・パラリンピックの経済効果」  
(みずほ総合研究所発表)より、矢田わか子事務所作成

### ◆矢田議員からのメッセージ

平成30年度 政府予算が成立しました。厳しい財政事情の中で、  
財政再建や社会保障の課題などは残っています。今月から私の所属  
する決算委員会が始まります。決算重視の参議院として 予算の執行  
状況など しっかり審議してまいります。 矢田 わか子